

毎月第3日曜日は「家庭の日」

# みちしるべ

第117号

2023年9月25日

〈発行〉  
玉城町青少年を育てる会  
〈編集〉  
啓発部会

## 玉城町青少年を育てる会総会を開催

新型コロナウイルス感染症の流行で令和2年度から開催を控えておりました総会を4年ぶりに開催し、多くの方にご出席いただきました。（令和2年度～4年度は書面決議）

日時：令和5年6月11日（日） 午前10時から  
会場：玉城町中央公民館 多目的ホール



総会の様子

### 総会次第

- 来賓あいさつ・紹介
  - 議長団選出
  - 議事
    - ・ 令和4年度事業報告と承認について
    - ・ 役員を選任について
    - ・ 令和5年度事業計画（案）と承認について
    - ・ 議長団解任
- ※総会終了後、育成部会・啓発部会を開催。



新役員あいさつ（見並会長）

## 愛の一声運動



毎年、「玉城町青少年を育てる会」の総会後7月から翌年3月まで（8月は除く）第3火曜日、午前7時30分頃から8時05分頃まで、田丸駅前「あいさつ運動」とともに青少年の健全育成を呼び掛けるポケットティッシュを配布しています。



この活動を行っているのは、玉城町高校生父母の会役員、元気ですたまき委員会、玉城町青少年を育てる会啓発部員等の方々です。

あいさつは人と人を繋ぐことばです。コロナ禍でおおきな声を出すことが控えられてきましたが、一人ひとりができる範囲であいさつを試みてはどうでしょうか。

地域では、子どもたちの登下校の安全を見守っていただいている方々が、日々子どもたちにあいさつをいただいています。

また、自転車は決められた場所へ駐輪していただきますようお願いいたします。近年放置自転車も増えてきています。自分で使うもの、使ったものは最後まで責任を持ちましょう。

## ちゃれ たま! だより

7月24日（月）、「夏休み子ども体験・見学ツアー」を税務住民課と共同で開催し、町内小学4年生から6年生の8名が参加しました。

行き先は、伊勢広域環境組合の清掃工場とリサイクルプラザで、清掃工場を見学したあと、コンポスト作り（EM菌をつかった堆肥づくり）を体験しました。参加した子どもたちは「ごみを土と菌でなくせると考えていませんでした」「知らない言葉がたくさんあったので来て良かった」と感想を述べていました。



SDGsや地球温暖化防止について考える良い機会になったと思います。



コンポスト作り

伊勢広域環境組合の見学

### 編集後記

暑い夏が終わり、暦の上では秋になりましたが、まだまだ暑い日が続いています。秋は、保育所や学校では様々な行事があり、子どもたちの頑張りが多く見られます。頑張りが見られた場合は、ぜひ褒めてあげてください。また、玉城町では定期テスト期間にノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホの取り組みを推進しています。



部長 山崎 真由佳

啓発部会では「地域の子は地域で育てる」とのスローガンのもと、地域が一体となり学校や家庭、各種活動と連携して青少年健全育成の啓発活動を行っていきます。

昨今では、褒める子育てが大切だと言われています。私たち大人は、子どものできないことに目を向けがちですが、できていることを褒め、認めることで、自己肯定感が養われます。子どもでも大人でも「褒められ、人から感謝されること」は、誰でも嬉しいものです。褒められると自信が湧き、やる気も起きます。自分自身の価値を認識し、自分を大切に思うことができれば、他人に対しても思いやりを持って接することができます。

子どもたちが健やかに育つには、親はもちろんのこと身近な大人の関わりも必要です。街頭指導「愛の一声運動」の継続実施とともに、子どもたちの手本となるよう、大人同士が「おはよう」と声を掛け合うことで、自然と挨拶が身につく子どもに育つのではないのでしょうか。「挨拶」を通して子どもと地域をつなぎ、地域の子どもと大人、大人同士が顔見知りになり、安心・安全な玉城町を目指しましょう。

町民が互いに協働して「地域の子どもは地域で育てていこう」という意識を高め、行動に移していけるように、当部会の活動に取り組んでいきたいと思ひます。今後とも、当広報誌「みちるべ」にて、青少年を育てる会の活動紹介をさせていただきますので、ご協力をよろしくお願い致します。

部長 下村 晴奈

私たちの生活は目まぐるしい社会の変化や社会情勢に翻弄されている状況が続いています。

今まで経験したことのない状況の中、生活様式が変化し大人も子どもも必死に生きてきた数年だったと思ひます。

その中で失ったものも沢山ありましたが、今まで当たり前だと思っていた事の有難さ、人との繋がり大切さ、感謝の気持ちに気付けた方も多かったのではないのでしょうか。

令和5年度の育成部会の活動では、「ちゃれ たま！」として子どものワクワクを引き出し親子で楽しい時間を共有してほしいという想いを込めて、天体観測、移動図書館による体験教室、標語募集、見学ツアー、新聞についての講演、新聞作り体験などを企画しています。

そして子ども会活動の助成や支援、地域っ子作り事業として「演劇公演（たまキッズ）」の助成を予定しています。

たくさんの方々に参加していただけるよう取り組んでいきたいと思ひます。

制約された生活の中でもたくましく育ててくれた子どもたちは宝物です。

第三者のおとなの目線で子どもたちの成長を温かく見守り、育てていく環境と力が玉城町にはあると思ひます。自分自身も地域の方々に支えられ安心して子育てが出来ていると日々感じています。本当に感謝しかありません。

これからもよろしくお願い致します。

そしてこの活動が未来ある子どもたちにとって記憶に残る体験になることを祈っております。

2. 青少年の非行防止に寄与するための啓発活動

青少年の生活実態に関する情報資料の収集や、巡回及び生活指導等を行い、社会環境の浄化を図ります。

- ・年間を通じた巡回巡視、街頭指導
- ・青色防犯パトロール講習会の受講
- ・地域犯罪情勢の把握



「青少年健全育成活動の啓発」の観点から、事業を提案する部会とします

1. 青少年健全育成の啓発推進

「地域の子は 地域で育てる」のスローガンのもと、「青少年を非行からまもる全国強調月間」(7月)・「青少年健全育成強調月間」(11月)・「社会を明るくする運動」を意識し、青少年の健全育成の啓発を図ります。

(1) 街頭指導「愛の一声運動」の継続実施

さわやかなあいさつができる子どもが、玉城町にはたくさんいます。これは、今までの地域での継続した取り組みの成果だと思ひます。この良き伝統を継続するため、玉城町内の様々なボランティアの方々や協賛員・高校生父母の会会員等と共に、「あいさつでつながる地域づくり」を目指し、田丸駅周辺での街頭指導「愛の一声運動」を継続実施してまいります。

(2) 情報収集及び学校・家庭・地域が一体となる青少年健全育成の啓発活動の提案「できることを、できることから」のスタンスのもと、啓発活動に取り組んでまいります。

2. 広報誌「みちるべ」の発行(年2回)

広報誌「みちるべ」の編集助言及び校正を行います。広報誌「みちるべ」は、玉城町のすべての町民に向けて、青少年を育てる会の活動を紹介すると共に、家庭教育・人権教育・心の教育を意識した青少年の健全育成を通じ、地域づくりの啓発及びメッセージの発信を目的としています。

「子どもの体験活動」を通じて、青少年健全育成事業を提案する部会とします

1. 子どもの体験活動クラブ「ちゃれ たま！」の立案助言及び運営協力

4つの観点(人権教育の観点・家庭教育の観点・地域づくりの観点・心の教育の観点)を軸に、玉城町全域の3才児～小学6年生の親子及び児童を対象とした、子ども体験活動クラブ「ちゃれ たま！」の立案助言及び運営協力を行います。

- ・天体観測(年間4回開催予定)
- ・夏休み子ども体験・見学ツアー
- ・福祉の標語(社会福祉協議会と共催予定)

などを計画

2. 地域活動の育成及び助成

(1) こども会(地域親子会)活動の助成・支援窓口

子ども会活動の助成や支援(アドバイス)を行います。

(2) 地域っ子づくり活動の助成

子どもの豊かな情感を育む事業として、地域っ子づくり事業『演劇公演(たまキッズ)』の助成を行います。



天体観測のようす

玉城町青少年を育てる会と玉城町生活安全推進協議会は、協働して防犯及び安全活動の推進を図り、町民が安心して生活でき、非行少年の早期発見とその生活指導を行うことで、青少年の健全育成を図ります

1. 町民の防犯、安全意識の高揚と自主的な防犯及び安全活動を推進

安全・安心な地域社会に向けて、啓発活動に取り組み、犯罪や事故に対する防犯意識の向上に努めます。